

学校だより かすかの 令和6年10月25日 春日野小学校

朝晩は涼しくなり、季節は少しずつ秋へと変わってきていることを感じます。令和6年度も、後半に入りました。後期の代表委員も決まり、新しい委員会活動も始まっています。子どもたちが生き生きと学校生活を送ることができるよう、指導していきます。運動会では、子どもたちが今までの学習の成果を発揮し、一生懸命取り組みますので、どうぞご覧ください。

アンケートのお願い

運動会をご覧いただいた後、アンケートへの回答をお願いします。アンケートはスクリーンのアンケート機能を活用して行います。アンケートの項目は以下の5つです。運動会を参観される際に、以下の観点でご覧いただければ幸いです。

- 1 お子さんは、力いっぱい競技をしていましたか。
- 2 お子さんは、自分の目標をもち、それを達成するために努力していましたか。
- 3 お子さんは、力を合わせたり、公正な態度で競技に取り組んだりしていましたか。
- 4 お子さんは、他学年と運動する楽しさを感じていましたか。
- 5 運動会について、ご意見やご感想があればお書きください。

〈学校努力点の取り組み〉

「やればできる！春日野っ子の育成～子ども中心の学びを進める体育科学習を通して～」をテーマに、日々授業に取り組んでいます。

5年1組・・・「マット運動」

伸膝後転の行い方について、できるようになるポイントを意識して練習を行いました。柔らかいマットを使った平らな場、段差を利用した場、踏み切り板を使った傾斜を利用した場から、自分に合った場を選びました。その中で、子どもたち同士で見合い、できているかを確認したりアドバイスをしたりしながら、課題に向けて取り組みました。学習後は「ポイントを確認することで、前よりもできるようになった」「自分の課題が見付かった」などの声が聞かれ、次の学習への意欲につなげることができました。

2年3組・・・「にんじゃごっこ」

「忍者体操」「ゆりかご玉入れ」「橋づくりの術」など、忍者になりきって準備体操を行いました。その後、逆さまの術（うさぎ跳び・川跳び越し・川跳び）と転がる術（丸太転がり・前転がり・後ろ転がり）の練習を行いました。最後に転がる術と逆さまの術を組み合わせた技を「修行忍者」「見守り忍者」に分かれて行いました。低学年では、遊びの要素を取り入れながら様々な感覚を養い、次の学年の学習へとつなげていきます。

6年2組・・・「ハードル走」

ハードルをリズミカルに走り超えるための練習方法を選び、目標に向けて練習に取り組みました。「同じ歩数で走る」「振り上げ足を前に伸ばす」「遠くから踏み切る」の三つの練習を、ゴムバンドの装着やキックシート、マーカーを使用することで、課題を意識して練習を行いました。また、成功したかを友達に見てもらい、○のハンドサインで表しました。認めたり励ましたりしながら、仲間とともに運動する楽しさを感じていました。

グランパスくん来校

名古屋市が推進している「あい・あい・あいさつ運動」の一環として、名古屋グランパスのマスコットキャラクター「グランパスくん」が、6年生代表委員とともに、東門であいさつ運動を行いました。その後各教室を回り、元気なあいさつを働きかけていました。一緒に写真を撮ったり、ハイタッチをしたりして、楽しく接していました。これからも、元気なあいさつで溢れる学校になるよう、代表委員を中心に活動していきます。

交通安全教室を行いました

南警察署の方と交通指導員さんを招いて、交通事故防止に向けての交通安全教室を行いました。2年生が歩行訓練、4・6年生は自転車走行訓練を行い、その他の学年は教室で交通安全についての学習を行いました。南警察署の方から、歩行訓練や安全な自転車走行について気を付けることを教えていただきました。次頁に記載した自転車の交通ルールについても参考にいただき、ご家庭でも交通安全について話題にしていただければと思います。

自転車の交通ルール

① 自転車は、車道が原則、歩道は例外

自転車は、車道の左側を通ることがきまりですが、子ども（13歳未満）が自転車に乗るときには、歩道を通ることができます。

② 車道は左側を通行

車道を通るときは、左側を通ります。

③ 歩道は歩行者優先で、車道よりを徐行

歩道は歩いている人が優先です。歩道を通るときは車道側に寄って通行し、歩いている人の妨害になりそうなときは止まりましょう。

④ 交通ルールを守る

- 二人乗りはいけません。
- 自転車どうしで、横に並んで走ってはいけません。
- 暗くなったらライトを付けましょう。
- 信号は必ず守りましょう。
- 「止まれ」の標識や、道路に「止まれ」と書いているときは、必ず止まって安全確認をしましょう。
- 左右が見えにくい交差点を通るときには、しっかり安全を確認しましょう。

⑤ ヘルメットを着用

自転車に乗るときは、ヘルメットをかぶりましょう。

⑥ 運転中のながらスマホ禁止

スマートフォンなどを手に持って、自転車に乗りながら通話したり、画面を見続けたりするのはやめましょう。